

## ◇ 博物館だより ◇

IHIものづくり館 アイミューズ  
IHI TECHNICAL HISTORY MUSEUM "i-muse"

〒135-8710 東京都江東区豊洲三丁目1番1号 豊洲IHIビル

<http://www.ihi.co.jp/i-muse/>

TEL : 03-6204-7032

FAX : 03-6204-8614

i-muse@ihi.co.jp

## 1. はじめに

本展示館「IHIものづくり館 アイミューズ」は、ビジネスマンの方々をはじめ広く一般の皆様にも、造船、陸上機械・プラントから航空・宇宙までさまざまな分野におけるものづくりを身近に感じていただくことを目的として、IHI 石川島播磨重工業㈱により設立され、今日までの軌跡と、これからの技術展望がさまざまなメディアを通じて展示されています。

本館を運営するIHIは、浦賀沖に黒船が来航した1853(嘉永6)年に創設され、以来、150年以上にわたりエンジニアリングの最先端技術・ものづくりにチャレンジしてきました。

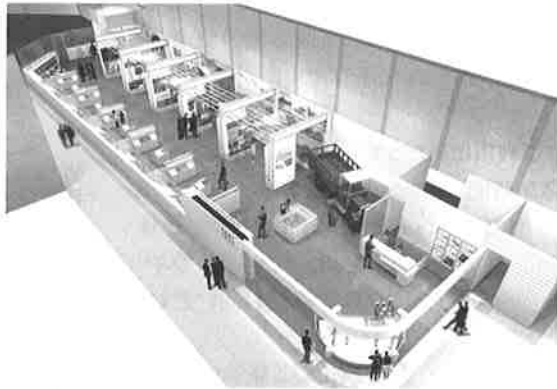


図1 アイミューズ全体図

## 2. 展示内容紹介

当展示館は、次の4つのゾーンから構成されています。

トピックスコーナー シンボル展示 エントランス

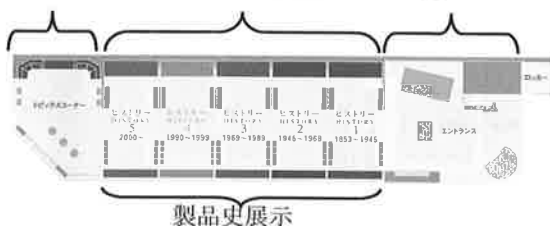


図2 アイミューズ館内マップ

各コーナーの展示概要は次のとおりです。

## (1) エントランス

エントランスでは、実機展示をメインとして、

- ①開発に携わった、日本初の実用化エンジンであるJ3ターボジェットエンジン実機。

- ②国産商業車第一号であるウーズレーCP型トラックの実機。

- ③IHIの前身となった石川島平野造船所の模型。

- ④IHIの企業史。

などを展示しています。



図3 エントランス

## (2) シンボル展示

創業から今日までの150年以上にわたるIHIにおけるものづくりの歴史を、5つの時代区分に分け、各時代を象徴するエピソードから紐解いています。各時代のエピソードは、次の通りです。

- ① ヒストリー1「東京駅」(1853～1945年)

近代化が進む日本の玄関口「東京駅」の建設では、約3000トンを超える鉄骨が用いられ、鉄骨建築としては日本初のクレーンを用いた施工が実施されました。ここでは、東京駅建設と合わせて、IHIのクレーン関連技術についても紹介されています。

- ② ヒストリー2「出光丸」(1946～1968年)

世界初の20万トン級タンカー「出光丸」が取り上げられています。浅瀬が続くマラッカ海峡を通るために、喫水線という制約条件の中、原油積載量の最大化と低燃費を両立させる課題に挑戦した軌跡が紹介されています。

- ③ ヒストリー3「LNGタンク」(1969～1989年)

クリーンで高熱量のエネルギー源LNG(液化天然ガス)、マイナス162℃という超低温の液体を貯蔵・供給する技術が紹介されています。

- ④ ヒストリー4「明石海峡大橋」(1990～1999年)

全長3.9kmの世界最長の吊橋「明石海峡大橋」の建設では、設計・製作・据付に関する様々な技術が紹介されています。また、風洞実験に基づく耐風設計、高さ300mの主塔を鉛直精度1/10000で完成させる精度管理システムといった、さまざまな技術も紹介されています。

- ⑤ ヒストリー5「V2500 ターボファンエンジン」(2000年～)  
 弊社が参画した、日米欧 5 カ国の次世代航空機用ターボファンエンジン開発プロジェクトにより、高性能・高信頼性エンジンが誕生しました。V2500 ターボファンエンジンを実現するために採用された様々な技術をご紹介します。

図4に、「ヒストリー5「V2500 ターボファンエンジン」」のコーナー写真を示します。



図4 シンボル展示  
 「ヒストリー5(V2500 ターボファンエンジン)」

(3) 製品史展示

前述の「シンボル展示」の5つの時代区分の中で、各時代を代表する製品が、模型・実機・パネルなどが所狭しと展示されています。



図5 製品史展示

(4) トピックスコーナー

現在及びこれからのIHIのものづくりにおける方向性についてご理解を深めていただくコーナーです。ここでは、次の展示を行っております。

- ① 現在の主要機種および研究開発の成果  
 現在の主要機種と、研究開発の成果をパネルおよび映像で展示します。
- ② アイミューズおもしろ映像ステーション  
 製品のしくみや社会との関わりが、映像資料で展示されています。製品のしくみをわかりやすく説明した映像や、大型プロジェクトの記録映像などをご覧になることができます。
- ③ 図書閲覧コーナー  
 IHIグループの社史や、関連資料を閲覧できます。



図6 トピックスコーナー

3. 活動状況と今後の展望

本展示場では、社内外の方々に、IHIのものづくりに関するご理解と関心を持っていただくため、前述の通常展示に加えて、特別展の企画も行っております。その一例として、9月15日～10月27日には、「IHIの基礎を築いた土光敏夫 生誕110周年 特別展」を開催しました。

大規模ウォーターフロントの玄関口に当たる豊洲地区は、今後、学校・商業施設・住宅が整備され、地区人口の急増が予想されます。豊洲地区にあって、「ものづくり」の素晴らしさを発信していくことは、当展示場の使命と考え、一層の情報発信を心がけていく所存です。

4. ご利用にあたって

- ・開館時間 : 9:30～17:30
- ・休館日 : 毎週土曜日、日曜日、祝日  
 年末年始、ゴールデンウィーク、夏季連休  
 (詳細は、直接お問い合わせください。)
- ・入場料 : 無料
- ・団体見学:20名以上のご見学は、予約が必要です。



ご来館地図